

紀尾井だより

9/10 September / October 2020 [Vol.143]

25
KIOI HALL
NIPPON STEEL
Arts Foundation

インタビュー

嘉数 道彦

速報

紀尾井ホール室内管弦楽団 2021年度定期演奏会

連載

邦楽名曲解体新書 私のおすすめこの一曲

地歌『黒髪』

クラシック音楽のテーマに基づく3つの話

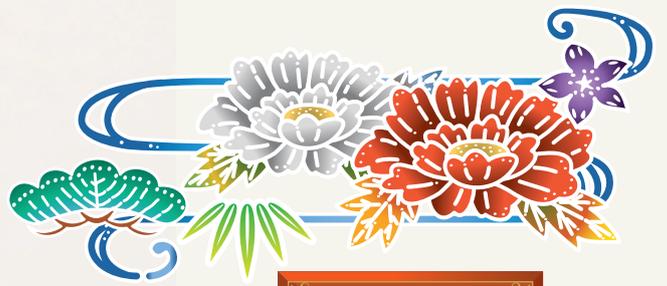
無伴奏をめぐる3話

開館25周年に寄せて

～皆さまからのメッセージ～



紀尾井ホール



嘉数 道彦

沖繩の国劇、國戯とよばれる組踊について教えてください。

初めて組踊に触れる方からは「どんな踊りですか」とよく訊かれますが、ダンスではなく楽劇です。1719年に中国皇帝の使節を歓待するため琉球王国で誕生した宮廷芸能で、台本を備えています。その様式は、歌三線、箏、笛、胡弓、太鼓による地謡が奏でる琉球古典音楽と、琉球

舞踊を基にした所作と舞踊、琉球古語による詞章を独特のセリフ回しで唱える立方で構成されています。

王命によって初めて組踊をつくったのが玉城朝薫で、その作品は朝薫五番(執心鐘入・二童敵討・銘苅子・女物狂・孝行の巻)とよばれ、その後も多くの組踊が誕生しました。と言いつても、いきなり組踊が誕生したのではなく、琉球古来の歌や踊り、日本や中国などの先行芸能の影響がありました。

初演から300周年の節目を迎えた昨年、国立劇場おきなわでは初演の舞台を野外に再現し、組踊「執心鐘入」などを上演しました。組踊を初めてご覧になった方からは、能と歌舞伎の中間のような芸能と言われたりもしますが、再現舞台で演出して思ったのは、当初の組踊はより能に近かったのではないかという点でした。ちなみに、王国崩壊後の組踊は商業演劇や地方の芸能、戦後は重要無形文化財、ユネスコ無形文化遺産と変遷を辿りながら、ウチナーンチュ*の心の古里として大切に継承されています。

*琉球語で、沖繩の人の意

玉城朝薫とはどのような人物だったのでしょうか？

琉球近世を代表する芸術家で、私どものように芸能に携わっている者からは、雲上人のような存在です。身分の高い家に

嘉数 道彦

かかず みちひこ

『朗読と組踊 玉城朝薫が紡いだ歌舞』脚本・演出



取材・文/長嶺 恵美子 撮影/大城洋平

来る11月に紀尾井ホール開館25周年特別公演として、「組踊」の創始者である玉城朝薫(1684~1734)に焦点をあてた朗読と、組踊「執心鐘入」・「二童敵討」が日替わりで上演されます。朗読劇の脚本・演出を担当するのは、ご自身も組踊役者である嘉数道彦 国立劇場おきなわ芸術監督。琉球王国時代に生まれた芸能を未来へ繋いでいく今回の公演について、お話を伺いました。



2017年「男性舞踊家公演 蓬菜」 古典女踊「天川」

生まれ、芸能に優れ、薩摩や江戸に度々公務で訪れていた玉城朝薫が踊奉行という役職に抜擢され、組踊の創始者となったのは運命だったかも知れません。その一方、幼い時に父と死別し、母親とも生き別れるなど肉親の情に縁が薄かったようです。組踊は「もの言う踊り」と当時の人々の注目を浴び、作者も脚光を浴びたにもかかわらず、晩年は寂しいものでした。

朗読劇の基になった作品についてお聞かせください。

玉城朝薫生誕300年のころに、沖縄初の芥川賞作家で数多くの小説や戯曲を書かれている大城立裕先生が、「玉城

朝薫は如何にして組踊を生み出したのか」というテーマで、小説「花の碑」を書かれました。この小説は「嵐花」という沖縄芝居となって東京の前座劇場でも上演されました。それから20年の歳月を経た国立劇場おきなわでの再演は、演者を一新し私も舞台に立たせていただきました。

これまでにもシェイクスピアやモリエールの翻案で歌舞劇をつくられています。今回はどのような工夫や苦労がありましたか？

朗読劇というスタイルは初めての挑戦でしたので、試行錯誤を重ねました。沖縄の歴史文化に精通していらっしゃる大城先生の重厚な「花の碑」には当然ながら、国王や政治家をはじめ多くの歴史的人物や架空の人物が登場してドラマを盛り上げます。群像劇のような小説から朗読劇にするにあたり、玉城朝薫とその文学上の弟子・平敷屋朝敏、その恋人で遊女のチラーという3名に登場人物を絞り、彼らの愛や葛藤を凝縮して描きました。

平敷屋朝敏という若く奔放で才気走った若者の書いた組踊「手水の縁」や、仲風という歌の形式は、今も愛されています。今回の朗読劇では、玉城朝薫の組踊だけではなく沖縄の豊かな歌や踊りの様々なエッセンスを取り入れ琉球芸能を紹介する新たな作品として、300年前に遡るだけでなく、未来へ繋げたいという思

いも込めました。

*沖縄の歌や踊りがちりばめられた劇

執筆にあたっては琉球語で書き、その後日本語訳をつけられますね。

その方が自然で楽なのです。幼いころから沖縄芝居が大好きで、劇場やテレビで見聞きした役者のセリフや所作を家でひとりマネするようなヘンな子どもでしたが、沖縄県立芸術大学で同好の士が見つかり無上の喜びでした(笑)。

沖縄芸能の現在をどう捉えていますか？

小国琉球は中国や日本という大国と芸能をもって外交をしてきました。それを担った士族から、廃藩置県以降は舞踊家や役者へ伝承され、戦争など幾多の困難を乗り越えて現在に至っています。私たちは先達の先生方からバトンを預かり次の世代へ渡していきますが、その原動力はひと言で言えば、好きだという思いに尽きる気がします。現在は沖縄県立芸術大学や国立劇場おきなわで優れた人材が輩出しています。環境に恵まれた私たちでしたが、今はコロナウイルスによる危機に瀕しています。どんな時にも芸能を愛しその力を信じてきた先人の精神を、一人一人が見つめ直し前進していきたいと思っています。

お客さまへのメッセージをお願いします。

沖縄から国内外の琉球芸能公演で活躍している贅沢な立方・地謡が揃って上京いたします。歌と踊りで綴る組踊誕生のドラマに続き、生まれたての組踊を上演するという希有な試みです。共に多くの舞台をつくってきた信頼できる皆さんと、300年前の琉球芸能の世界へお客さまをお連れいたします。紀尾井ホールで繰り広げられる琉球芸能の世界へどうぞお運びください。



嘉数 道彦 琉球舞踊・組踊立方、脚本・演出家

1979年、沖縄県那覇市生まれ。4歳から琉球舞踊を初代宮城能造、宮城能里に師事。宮城流能里乃会師範。沖縄県立芸術大学大学院音楽学芸術研究科修士課程修了。在学中から新作組踊を発表するほか、国立劇場おきなわの開場記念公演などに出演。沖縄県立芸大非常勤講師を経て、2013年4月から公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団芸術監督に就任。第39回松尾芸能賞舞踊部門新人賞受賞。

朗読と組踊 玉城朝薫が紡いだ歌舞

Ⅰ 11/6 (金) 14:00
Ⅱ 11/7 (土) 14:00

小ホール
※公演開催についての最新情報は紀尾井ホールウェブサイト等でお知らせいたします。



速報

2021年度定期演奏会

2021年度のラインナップをお知らせいたします。ホーネックの首席指揮者第2期最終年にあたる来年度は、多くの公演が中止を余儀なくされた20年度の災禍を吹き飛ばすような多彩で濃密な内容を取り揃えました。バロックから近代まで初めてとりあげる作品も多く、かつ初登場となる客演も半数以上。KCOは挑戦を続けます。

第
126
回

2021 5/21(金) 19:00・22(土) 14:00

バロック音楽の権威ダントーネが、KCOを指揮し日本のオーケストラにデビューします。さらに自身が鍵盤用に編曲したボルボラの協奏曲をアジア初披露。アバドも愛したダントーネの音楽を、指揮とソロの両面で存分にお楽しみいただけます。彼と公私ともにパートナーであるガルーによるバロック・オペラの名アリアにも心揺さぶられること必至。

【出演】 指揮・チェンバロ オッターヴィオ・ダントーネ **国内オーケストラ・デビュー**
コントラルト デルフィーヌ・ガルー **初来日!**

【曲目】 ヴィヴァルディ&ヘンデル オペラ・アリア集
ボルボラ/ダントーネ編 ピアノ協奏曲ト長調(原曲:チェロ協奏曲) [アジア初演]
グルック 歌劇「バリーデとエレーナ」よりアリア《甘い恋の美しき面影が》
ハイ든 交響曲第81番ト長調



デルフィーヌ・ガルー & オッターヴィオ・ダントーネ © Giulia Papetti

第
127
回

2021 9/17(金) 19:00・18(土) 14:00

2021年度最初にホーネックが振る定期演奏会は、第122回に予定されていたプログラムを丸ごと再現するリターン・マッチです。すべて同じ年(1878年)に書き始められた3作品の個性の差を、KCOの管、弦両セクションの精妙な演奏で聴き比べていただきます。後半はホーネックによる大作ブラームス!

【出演】 指揮・ヴァイオリン ライナー・ホーネック

【曲目】 ※公演中止となった第122回と同プログラムです
ドヴォルザーク 管楽セレナード 二短調
ブルックナー 弦楽五重奏曲へ長調より第3楽章アダージョ
ブラームス ヴァイオリン協奏曲二長調



ライナー・ホーネック © ヒダキトモ

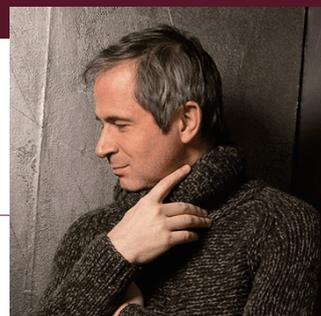
第
128
回

2021 11/5(金) 19:00・6(土) 14:00

鍵盤の詩人にして思索者アンデルシェフスキがKCOに初登場し、モーツァルトの2つしかない短調のピアノ協奏曲から第24番と、彼にとって日本初披露となる第12番の2曲を弾き振ります。さらにプロコフィエフとアンデルシェフスキの同郷であるルトスワフスキは指揮なしで、KCOの高いポテンシャルがいかに発揮されることでしょう。

【出演】 ピアノ ピョートル・アンデルシェフスキ

【曲目】 プロコフィエフ 交響曲第1番二長調《古典》
モーツァルト ピアノ協奏曲第12番イ長調
ルトスワフスキ 室内オーケストラのための小組曲(オリジナル版)
モーツァルト ピアノ協奏曲第24番ハ短調



ピョートル・アンデルシェフスキ © Simon Fowler

第
129
回

2022 2/11(金・祝) 18:00・12(土) 14:00

ホーネックの首席指揮者第2期の最終回は、彼自身のソロに加え、ハ長調とニ長調の華やかな2つの傑作交響曲で豪華に飾ります。さらに2016年に続くホーネックのリヒャルト・シュトラウスは、今回はオーボエ協奏曲。ソリストには、人選に厳しく長らく空席だったロンドン響首席に試用期間なしの厚待遇で迎えられたスタンキエーヴィチを招きます。

【出演】 指揮・ヴァイオリン ライナー・ホーネック
オーボエ オリヴィエ・スタンキエーヴィチ

【曲目】 バッハ オーボエとヴァイオリンのための協奏曲ハ短調
モーツァルト 交響曲第36番ハ長調《リンツ》
R.シュトラウス オーボエ協奏曲ニ長調
ベートーヴェン 交響曲第2番ニ長調



ライナー・ホーネック © ヒダキトモ
オリヴィエ・スタンキエーヴィチ © Kaupo Kikkas

7月に定期演奏会を予定しておりましたが、延期となったオリンピックの日程と重なり、代替日程の調整もつかなかったため、2021年度は全4回で開催いたします。

<継続手続き・新規会員受付スケジュールについて>

新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大の影響により、現定期会員様の継続手続き期間、新規定期会員受付開始日ともに現在調整中です。決まり次第、紀尾井ホールウェブサイト等でお知らせいたします。現定期会員様への継続のご案内は郵送いたします。

地歌

『黒髪』

お話／藤井泰和さん

地歌の代表曲が
手ほどきの曲に

祖母も母も地歌演奏家でしたが、私自身は「男が箏を弾くなんて」と恥ずかしくて、学生時代は柔道、陸上、野球、サッカー、ラグビーなどスポーツばかりやっていました。ところが十七歳の時にラグビーで大怪我をしてしまい、母から東京藝術大学邦楽部の受験を勧められてこの道に進むことに。それから祖母のスパルタ稽古が始まり、他人が五年かかるところを一年でやれといわれて、朝から晩まで三味線を弾きましたね。祖母はチントンシャンと口三味線で、どの糸をどのように弾くのかを事細かに教えてくれるんです。私の世代がそういう教わり方の最後の世代かもしれないね。今の生徒さんは楽譜や録音も簡単に手に入りますから。

これまでさまざまな曲を演奏してきましたが、好きな曲はやはり品格のある曲、そして三味線の腕の見せどころのある曲です。その代わり失敗すると目立つので恐いのですが。今回『黒髪』を選んだのは、私の手ほどきの曲だったからです。祖母に「あんた楽器持つておいで」と言われて、最初の一声が「くーろーかみの…」でした。祖母がこれを課題曲に選んだのは、地歌らしさがあると考えたからかもしれない。地歌は江戸時代に上方を中心として広まった三味線音楽で、江戸唄に対する地(地元)上方(の歌)という意味

がありました。どちらかといえば三味線の手数が少なく、歌で聴かせる曲です。『黒髪』は「三下り」という特殊な調弦で演奏するため初心者にとっては難しいのですが、手数が少ないことと、それほど長い曲ではないという点が、祖母を選んだ理由なのでしょう。厳しい人でしたが、曲が進むにつれてよその人には「うちの孫がこんなものを弾けるようになった」と喜んで話していたみたいです。

女性の悲恋を、
飾り気なく情景豊かに歌う

『黒髪』の作曲者は江戸時代後期の長唄唄方、初世湖出市十郎。彼が上方在任中に作った芝居歌が地歌として伝え残されてきたものといわれていますが、長唄にも同名曲があり、どちらが先にできたのかは諸説あるようです。作詞者は不詳で、一説には室町時代の僧・蓮如上人の作ともいわれていますが、確証はありません。地歌の多くが女性の悲恋を歌う内容で、この『黒髪』も独り寝で淋しく夜を明かすやるせない女心を歌っています。元々地歌は当道という盲人演奏家によって演奏されていた、つまり女心を男性が低い声で淡々と歌って聴かせるものでしたが、次第に女性演奏家が多くなったことや、尺八と合奏することが多くなったため、高音で弾き歌いされることが多くなりました。

実らぬ恋のつらさというのは、時代や

性別を問わず芸術文化の普遍的な題材になりますね。ある生徒さんが急に音色がよくなったので、「何かあったね?」と。不思議なもので、色々あると音に表れるんですよ。

音楽的な聴きどころとしては、要所要所に入る合の手(歌と歌の間に演奏される器楽の旋律)にご注目ください。しみじみと情景が浮かんできます。構成も序破急が整っていて、優れた曲だと思います。手ほどきのころから四十年以上弾いてきましたが、スルメイカのように、やればやるほど味わいが出てくる曲ですね。

取材文・イラスト／尾花知美
(月刊『江戸楽』編集部)

藤井泰和

生田流箏曲・九州系地歌演奏家。幼少より祖母阿部桂子、母藤井久仁江(人間国宝)に箏の手ほどきを受け、後に祖母より三弦の手ほどきを受ける。昭和五十八年東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。同六十年同大学大学院修了。平成十五年度文化庁芸術祭新人賞受賞。同十八年銀明会三代目家元を襲名。同年度文化庁芸術祭優秀賞受賞。同二十五年芸術選奨文部科学大臣賞受賞。同三十年度紫綬褒章受賞。



無伴奏を めぐる 3話

現在も世界中で多く弾かれ
録音も多い無伴奏作品。
その成り立ちと無伴奏曲の
魅力を知る3つのお話です。

1 「無伴奏」とは？

バッハには《無伴奏ヴァイオリン・ソナタ》や《無伴奏チェロ組曲》などのように、タイトルに「無伴奏」と添えられている作品があります。もちろん無伴奏は「伴奏無しで演奏する」という意味ですが、実はそこに「通奏低音が無い」という意味も含まれているのです。というのも、バッハの時代を含む17〜18世紀の音楽は「主旋律」と「通奏低音」の二つで構成することが大前提となっていました。ですから、あえて「無伴奏」と書くことで、原則的な構成を崩した「特殊な作品」だということを強調しているわけです。

こうした無伴奏曲のルーツはイタリアにあります。当時イタリアは音楽先進国で、ドイツの音楽家たちは、イタリアの無

伴奏曲を学び、演奏していました。そして1670年代になるとドイツ人音楽家たちも、無伴奏曲の創作に取り組みだします。これがイタリアとは異なる、独自の発展を遂げるのです。

2 無伴奏曲と「音のイリュージョン」

イタリアの無伴奏曲は「美しく伸びやかな旋律」や「アーティキュレーションによる、語りの表現」を追求したのに対し、ドイツの無伴奏曲の特徴は「対位法書法」を追求した点にあると言えます。対位法書法の追求とは、要するに楽器は一本しかないにもかかわらず「複数の旋律が聴こえる音楽」を追い求めたということですから、これは、存在しないはずの旋律や通奏低音が「聴こえる」という、いわば「音のイリュージョン」です。

イリュージョンのタネを明かしますと、まずは重音奏法です。ヴァイオリンやチェロは重音奏法を使うことで、同時に2〜3音を鳴らし、和音を弾くことができま

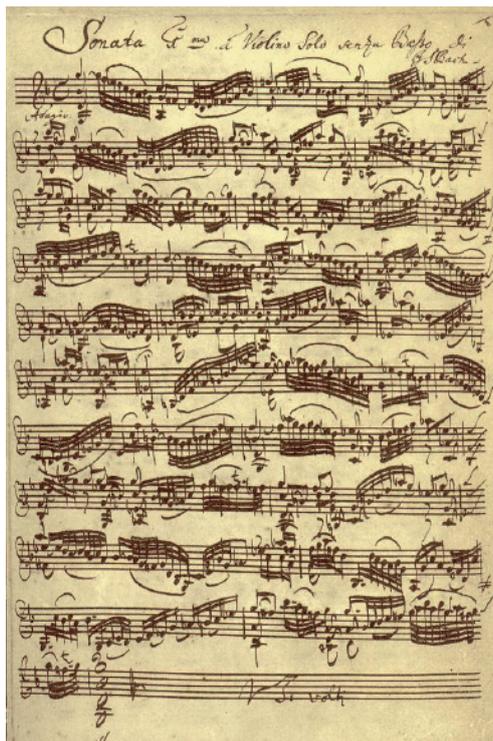
す。この奏法を駆使し、和音のうち、ひとつは主旋律の音を、そしてもう一方の音でもうひとつの旋律や通奏低音を示すことで聴かせるといった方法です。あるいは、音楽の論理的な構造から、それらを聴こえるように作曲する方法もあります。たとえば「ド」から始まる音階で、「ド・レ・ミ・ファ……」と歌ってゆき、「……ソ・ラ・シ」と「シ」で歌うのをやめると、次はどうしても「ド」に行きたくなり、このように音楽上のロジックを使つて、存在しない他の旋律や通奏低音を聴衆に想起させるのです。

音のイリュージョンは、楽譜に

書かれていませんから、作品の本当の姿は、聴衆の頭の中で「はじめて完成する」と言えます。こうした演奏者と聴衆と一緒に音楽を作るような、ドイツ風の無伴奏曲を、深く掘り下げ、ひとつの芸術的な頂点へともたらしめたのが、バッハなのです。

3 実は《トッカータとフーガニ短調》も？

バッハの有名なオルガン曲《トッカータとフーガニ短調》BWV565も、近年の研究によれば、音楽の性格が全体的にヴァイオリン的なため、実は無伴奏ヴァイオリン曲を原曲とした編曲ではないかと指摘されています。この説をもとに、実際にヴァイオリンでこの曲を演奏した録音もいくつかありますが、聴いてみま



J.S.バッハ直筆の「無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ第1番」楽譜

と、かなり説得力を感じます。ご興味のある方は、ぜひヴァイオリンの演奏で聴いてみてください。

文 加藤 拓末(音楽学・バッハ研究)

無伴奏をめぐる 紀尾井ホール公演

マリオ・ブルネロ バッハ「無伴奏」

I 11/1
日 14:00

II 11/3
祝 14:00

J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとパルティータ

J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲

※公演開催についての最新情報は紀尾井ホールウェブサイト等でお知らせいたします。



開館25周年に寄せて〈第2回〉

紀尾井友の会・紀尾井ホール室内管弦楽団・紀尾井サポートシステム個人会員の皆さまから
紀尾井ホール開館25周年に寄せてメッセージをいただきました。

新型コロナウイルス感染拡大防止措置のため、公演開催自粛の最中にもかかわらず、たくさんのメッセージが寄せられました。
この場を借りて感謝申し上げるとともに、いただいた中から一部をご紹介します。

※掲載にあたり、体裁の都合上、本文を一部編集しております。

開館25周年おめでとうございます。紀尾井ホールには、紀尾井シンフォニエッタ東京のころから、室内オーケストラの殿堂として何度も通っていました。

加えて、昨年から「音楽でつづる文学」シリーズの「平家物語」により、琵琶による語り「平家」を体験。三弦や箏との合奏など、新しい世界に触れることができました。これに導かれて、邦楽の世界への扉も潜ることに、琉球組踊や浄瑠璃(義太夫、三味線)の公演も楽しんでおります。

コロナ禍で大変な中での25周年ですが、事態が終息して、休演になった公演も含めて上演できる日が一日も早く来ることを祈っております。

ワッシー (東京都) / 友の会会員

紀尾井ホールが私の人生に登場してきたのは十年も昔のことだ。夫を亡くして茫然自失の中、そうだ、彼の愛したクラシック音楽がある、コンサートへ行こう、とかすかに希望の兆しが見えてきた。当時私の耳にはなぜかベートーヴェンのピアノソナタしか届かなかった。その折ペーター・レーゼルのベートーヴェン・ツィクルスと出会い、魂を揺さぶられて生きる力が湧いてきた。

落ちついた大人の雰囲気を感じさせる格調高い芸術空間。私は独り、デートの気分で特等席に座り、世界に名高いソリストたちやカルテットなどの奏でる夢の世界にうっとり浸れるのが紀尾井ホールなのだ。

ruribitaki (東京都) / 友の会会員

25周年に乾杯! 私にとって最高の思い出は10年前の5月15日、(紀尾井シンフォニエッタ東京)第74回定期演奏会の後にロビーで行われた懇親会。何とホーネックが第一ヴァイオリンで室内楽をやってくれたのです。青木(高志)氏の生き生きした弾きっぷりも忘れられません。実は当日は私の誕生日。素晴らしい贈物をいただいた次第です。さらにその年の秋、第76回ボッセから始まったベートーヴェン・ツィクルス。第80回ヘンヒェンによる第九まで本当に充実した15周年イベントでありました。室内オケならではの緻密な響きに満ち満ちて得も言われぬ感銘を受けたこと、今でも鮮明です。感謝申し上げます。

信 (東京都) / 友の会会員

800人のためのすてきな空間。とにかくよく響くホールである。どこに座って聴いても木の反響が素晴らしいのだ。例えばバルコニー席では舞台から発せられた音が壁に跳ね返って何ともいぬ響きをもたらしてくれる。それが目に見えるような経験。これは凄いことだ! さらに常設のオーケストラを持ち、その腕がすこぶるいいのに感心する。田園交響曲の2楽章、クラリネットとファゴットのかげ合いはまさに小川のほとりの鳥の声。在京オケのいいとこどりで何とも贅沢なひととき。そして(ヴァイオリン協奏曲では)ホーネックさんのティンパニを伴っての息のピッタリ合ったカデンツァにびっくり! ここはウィーンの18世紀の貴族の館? いや21世紀の東京。まさにタイムマシンのよう。

オーケストラ大好き人 (東京都) / KCO定期会員

*友の会会員=紀尾井友の会会員、KCO定期会員=紀尾井ホール室内管弦楽団定期会員

紀尾井ホールにご支援いただいている企業および個人の方々です

紀尾井サポートシステム会員 (五十音順・「株式会社」等表記及び敬称略)

- 《特別協賛会員》 A.ランゲ&ゾーネ / 日鉄ソリューションズ / 三菱商事 / 三菱地所
 《みやび会員》 伊藤忠商事 / 大島造船所 / KDDI / 菅原 / 住友商事 / 丸紅 / 三井住友銀行 / 三井物産 / 三井不動産 / 三菱商事 / 三菱地所 / メタルワン ほかに匿名2社
 《ひびき会員》 オカムラ / きらぼし銀行 / 高砂熟学工業 / 竹中工務店 / 山下設計
 《みどり会員》 青鬼運送 / 赤坂維新號 / 赤坂 エクセルホテル東急 / 今治造船 / ヴォートル / エーケーティ / NTTドコモ / 荏原冷熱システム / 鹿島建設 / ザ・キャピトルホテル 東急 / 三協 / 清水建設 / 上智大学 / スタインウェイ・ジャパン / 西武プロパティーズ / 大成建設 / 千代田商事 / テイスト・ライフ / 東芝ライテック / 永田音響設計 / ニュー・オータニ / ハウス食品グループ本社 / パナソニック / 富士ゼロックス / 松尾楽器商会 / 三井住友信託銀行 / 三菱UFJ銀行 / 三菱UFJ信託銀行 / 三菱UFJモルガン・スタンレー証券 / ミュージョン / 明治座舞台 / ヤマハサウンドシステム / 有帆
 《おおい会員》 青木陽介 / 飯沼万里子 / 石崎智代 / 磯部治生 / 井上善雄 / 小島 徹 / 片山能輔 / 久保祐子 / 倉古遼介 / 栗山信子 / 近藤貴子 / 佐久間庸行 / 佐部いく子 / 志立正嗣 / 清水 正 / 清水多美子 / 清水康子 / 鈴木 亮 / 高下謹彦 / 高橋義徳 / 田中 進 / 外山雄三 / 鳥居荘太 / 中西達郎 / 西村剋美 / 原田清朗 / 北條哲也 / 堀川将史 / 牧本恵美子 / 松枝 力 / 松原 良 / 松本美恵 / 養輪永世 / 宮本信幸 / 陸田 実 / 村上喜代次 / 持留宗一郎 / 八木一夫 / 八木晶子 / 山内寿実 / 横地卓哉
 ほかに匿名20名 計118口
 (2020年8月1日現在)

特別支援会員 (五十音順・「株式会社」等表記略)

- アステック入江 / 五十鈴 / NST日本鉄板 / NSユナイテッド海運 / NSユナイテッド内航海運 / エヌエスリース / エヌテック / 大阪製鐵 / 九築工業 / 草野産業 / 黒崎播磨 / 合同製鐵 / 小松シャリング / 山九 / 産業振興 / 三晃金属工業 / サンユウ / 三洋海運 / ジオスター / スガテック / 大同特殊鋼 / 大和製鐵 / 高田工業所 / 鶴見鋼管 / DNPエリオ / テツゲン / 東海鋼材工業 / 東邦シートフレーム / トビー工業 / 日亜鋼業 / 日鉄環境 / 日鉄ケミカル&マテリアル / 日鉄建材 / 日鉄鋼管 / 日鉄鋳業 / 日鉄鋼線 / 日鉄鋼板 / 日鉄興和不動産 / 日鉄ソリューションズ / 日鉄テックスエンジニア / 日鉄ドラム / 日鉄日新製鋼 / 日鉄物産 / 日鉄物流 / 日鉄物流君津 / 日鉄物流八幡 / 日鉄保険サービス / 日鉄ボルテン / 日鉄溶接工業 / 日本金属 / 日本触媒 / 濱田重工 / 富士鉄鋼センター / 不動テトラ / 幕張テクノガーデン / 三菱金属工業 / 三島光産 / 宮崎精鋼 / 吉川工業
 日本製鉄
 (2019年度、匿名一社除く)

第33回 紀尾井友の会イベント

渡辺保氏を迎えて「邦楽、この人 この至芸」

2020年9月23日(水)14:00 配信スタート 9月30日(水)14:00頃 配信・購入終了

友の会会員 視聴料無料(要パスワード)

一般の方 500円(税込)で購入日から1週間視聴可能
(支払い方法:クレジットカードまたはPayPal)

前号でお伝えしたとおり、本イベントは新型コロナウイルス感染拡大を防止しながら、安全に多くの方々にご参加いただけるよう、動画配信で開催いたします。

【視聴方法】

紀尾井友の会会員の方

<https://kioihall.jp/tomoevent2020>

上記の会員専用視聴ページにアクセスください。

今号に同封の「紀尾井ホール最新情報のご案内」にパスワードを記載しています。記載のURLからアクセスし、パスワードを入力すると動画を再生できます。期間中無料で何度でも視聴いただけます。

一般(非会員)の方

<https://kioihall.jp/ippanevent2020>

こちらへアクセスし、レンタル購入の上で視聴ください。購入日から1週間いつでも視聴いただけます。

※配信終了後も購入日から1週間は視聴できます。

※動画配信サービスVimeoのアカウント登録が必要となります。

詳しくは紀尾井ホールウェブサイトまたは同封のチラシをご覧ください。

【お問合せ】紀尾井友の会事務局 TEL.03-5276-4540(10時~15時/土・日・祝休)

E-mail: info@kioi-hall.or.jp ※短縮営業中のため、お返事にお時間をいただく場合がございます。



紀尾井友の会のご案内

ホール開館25周年記念 キャンペーン 実施中!

2020年12月末までに新規にご入会いただいた方に25周年記念オリジナル・ミニタオルのプレゼントキャンペーンを実施中です。この機会にぜひご入会ください。



※詳しくは紀尾井ホールウェブサイト内(<https://kioihall.jp/tomonokai>)でもご案内しています。

開館25周年特別企画

紀尾井ホールでの思い出に残る演奏・プログラムをお聞かせください

紀尾井ホール開館25周年を記念して、読者の皆さまからのメッセージを募集します。皆さまの記憶に残る紀尾井ホールでの演奏やプログラムを思い出とともにお寄せください。今後の紀尾井だよりに掲載いたします。 ※応募多数の場合は掲載できない場合がございます。

応募方法

1. 投稿フォームから必要事項をご記入の上ご送信ください。
2. 体裁・字数 200字程度
3. 応募締め切り 2020年10月末日

※誌面には、思い出エピソード・ペンネーム・お住まいの都道府県を掲載いたします。そのほかの個人情報は連絡のみに使用し、他の用途には使用しません。また企画終了後は責任をもって破棄いたします。 ※投稿フォームはGoogle フォームを使用しています。



<https://bit.ly/32isxiV>



掲載させていただいた方には開館25周年記念オリジナル・ミニタオルをプレゼントします。たくさんのご応募お待ちしております。

紀尾井友の会 特典施設のご案内 (営業内容・営業時間に変更がある場合がございます。ご利用の際は各施設ホームページなどでご確認ください。)

ザ・キャピトルホテル 東急 (東京メトロ 溜池山王駅 直結)

水簾(日本料理)

ホテルの“離れ”ともいえる空間にて四季の移ろいを感じながら、ていねいに美しく仕上げた旬のお料理をご堪能ください。

【特典】 お食事をされた方に ワンドリンクサービス

ランチ 11:30~15:00(L.O.14:00)
ディナー 17:30~22:00(L.O.21:00)
※7/28時点の営業時間です。



※写真はイメージです。 お問合せ TEL.03-3503-0873(直通)

赤坂 エクセルホテル東急 (東京メトロ 赤坂見附駅・永田町駅 徒歩1分)

赤坂スクエアダイニング (レストラン)

“いつも心地よいおいしさ”をコンセプトに洗練された大人の街赤坂を象徴する贅沢な食の空間でくつろぎのひとときをお過ごしください。

【特典】 ご飲食代 10%OFF

【通常】
6:00~22:00(L.O.21:30)



※写真はイメージです。 お問合せ TEL.03-3580-2331

編集 後記

巻頭インタビューにご登場いただいた琉球舞踊家の嘉数道彦さん。東京と沖縄をオンラインで結び、リモートでインタビューを行いました。画面越しでも伝わる誠実で温かなお人柄、琉球芸能を愛している方なのだなあと感じました。足かけ3年近くをかけて構想を練ってきた本公演もいよいよ11月に開催です。

今号の表紙 『三線とダリア』 [協力] hanadouraku

ダリアの和名はボタンの花に似ていることから「天竺牡丹」、花言葉は「優雅」「気品」「威厳」などがあります。チューリップやバラと並んでもっとも花色が多い植物なのだそうです。11月の朗読と組踊公演のインタビューにあわせて、組踊の優雅さや、琉球文化の多彩な色使いをイメージして、カラフルなダリアと三線を組み合わせました。

公式SNSで最新情報配信



紀尾井
ホール

紀尾井ホール
室内管弦楽団

チケットのお申込み

紀尾井ホールウェブチケット <https://kioihall.jp/tickets>

紀尾井ホールチケットセンター TEL.03-3237-0061 13:00~17:00(日・祝休)

※短縮営業中。変更となる場合がございます。ご了承ください。

